

ケアマネ通信おびひろ

平成 24 年 3 月 29 日 発行
帯広市介護支援専門員連絡協議会
発行責任：濱 功之

第35号

【目次】

- 1、平成 24 年度帯広市介護支援専門員連絡協議会定期総会及び公開講座のご案内
- 2、研修レポート①（居宅介護支援事業所ふぁ～すと・阿部萌々子）
（介護付き有料老人ホームみのり帯広・橋本則幸）
- 3、研修レポート②（居宅介護支援事業所帯広市社会福祉協議会・三木幸子）
- 4、ケアマネ連協部員の募集について
- 5、第 6 回日本介護支援専門員協会のご案内
- 6、帯広市要介護認定審査会委員の派遣について
- 7、私のお気に入り（居宅介護支援事業所ニチイケアセンター帯広・本田咲代子）
- 8、ケアマネの輪（地域包括支援センター帯広至心寮・坪井一身）
- 9、癒しのオフタイム（地域包括支援センター愛仁園・小野貴史）



平成24年度帯広市介護支援専門員連絡協議会定期総会

平成 24 年度の帯広市介護支援専門員連絡協議会の定期総会を以下の日程で開催いたします。4 月中旬以降に総会及び公開講座の案内、出欠確認、委任状をお送りいたします。たくさんのご参加お待ちしております。



写真は今年度のものです

日 程：平成 24 年 5 月 26 日（土曜日）

時 間：13：00～14：00 予定

場 所：とがちプラザ・レインボーホール

～公開講座のご案内～



上記、定期総会終了後、公開講座を開催いたします。帯広市介護支援専門員連絡協議会の公開講座は市民の方にもわかりやすいホットな情報を提供するだけでなく専門職のスキルアップに役立つ内容で構成されており、大変好評です。今年は、講師に郡山ソーシャルワーカーズオフィスの吉田光子氏に依頼しました。内容については、昨年度の東日本大震災について福島県での体験を通じて、医療・介護・福祉関係者考えていかなければならないことを中心にご講演いただく予定です。

日 程：平成 24 年 5 月 26 日（土曜日）定期総会終了後～17：30

場 所：とがちプラザ・レインボーホール

講 師：郡山ソーシャルワーカーズオフィス代表（福島県）・吉田光子氏

参加費：会員／無料 非会員／500 円 予定



●●研修レポート①●●

【帯ケアマネ連協・第3回学習会「支援経過と評価について」】

平成24年1月18日（水）第3回学習会がグリーンプラザにて行われました。ケアマネジメントにおける一連の流れに添って「サービス担当者会議」「モニタリング」に続き、今回のテーマは「支援経過と評価」です。初めに学習会の資料に基づいて、介護支援経過の目的や記録に際して最低必要とされる項目について振り返りました。記録の方法として、その時その時の出来事を時間的に記録していく方法や、主観的データ（S）客観的データ（O）アセスメント（A）プラン（P）の順序で問題点ごとに記録していくSOAP方式。また、私は今回の学習会で初めて知る事ができたのですが、フォーカスチャートングと言って出来事を焦点化し情報をまとめていく方法を学びました。

その後、①記録の際に工夫・苦労している事②何をポイントにして記載しているか③レクチャーでの要点を意識しているか、以上3点についてグループワーク形式で討議を行いました。

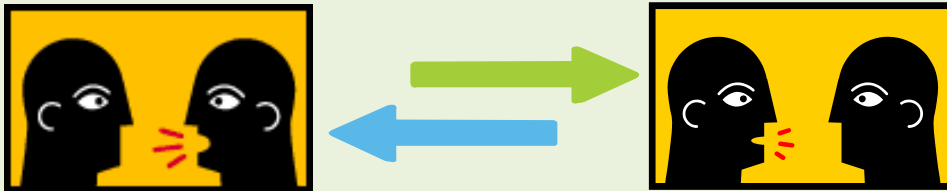


私のグループでは、複数いる事業所で、第三者が見ても経過やサービス調整した内容がわかるように記録し、自分が外勤等で不在時にでも迅速に対応して頂けるように工夫している、という意見が主に出されました。他のグループでは、記録から本人、家族の思いがわかるように実際に話した言葉を「」で記載する事により後で読み返した際に振り返りやすい等活発な意見が出されました。

私は、昨年10月よりケアマネジャーとして勤務させて頂いています。今回の学習会を通して、他事業所のケアマネジャーの方と情報交換を行う中で、自分の業務を振り返り、別な視点を持って考える良い機会となりました。これからも、様々な職種の方々と連携をしながら、利用者の方から必要とされるケアマネジャーを目指し勉強していきたいと思っております。

居宅介護支援事業所ふぁ～すと

阿部 萌々子



今回の学習会では、「支援経過と評価について」の具体的な内容を、違った施設（GH・老健・有料）ごとで、どのように取り組んでいるかをグループワークにて情報交換を行いました。ある施設では、介護記録とケアマネの記録が一体化されている所があり、具体的な取り組み方法を教えていただきました。また、介護記録を電子化した施設の情報も教えていただき、「入浴」「排泄」等の様々なカテゴリー毎に分類されている物に、当てはまる介助内容をパソコンで入力していくことでの残業時間削減の利点やケアマネがカテゴリー毎に呼び出すと、その記録だけ（例えば、「排泄」カテゴリーのみの抽出）が出来るため、日頃の介助内容が明確化することや具体的な評価にもつなげられるといった利点も教えていただきました。

最終的な結論としては、情報交換した内容を、自施設に持ち帰り、実践できることや参考になった所から始めていこうという話で終了しました。

今回の研修で、自分の施設以外での取り組みの細かい内容をうかがい知ることが出来、普段ではなかなか聞くことが出来ないことであったため、大変参考になりました。

これからも、学び得た内容を生かすことが出来るよう、取り組んでいきたいと思っております。学習会に参加させていただき、ありがとうございました。

介護付き有料老人ホームみのり帯広

橋本 則幸

【帯ケアマネ連協・第4回学習会「事例検討会」】



平成24年3月14日に行なわれました帯広市介護支援専門員連絡協議会の学習会「事例検討会」に参加しました。本年度最終の学習会でもあり、自分自身も興味を持って参加することができました。これまでも様々な研修で事例検討を行なってきましたが、今回は全体で一つの事例をグループで協議する方法で行なわれ、グループ協議の内容を全体でロールプレイを通じて事例の内容を深めることで利用者の状態像をイメージしやすくする工夫がされていたことが印象的でした。

ロールプレイを通じて、事例の概要をさらに掘り下げていくためには、質問力が重要だということが感じられました。また、その質問は「根拠を持って」されなければならないことなどが重要で、意味のない質問を極力除いて、質問の主旨を明確にすることで、事例提供者に対しても、なぜこの質問をしているのか、この点が明確になれば、こんなことも見えてくるのではなど創造力を掻き立てるような新鮮な研修の機会となりました。

事例提供者には、労いの言葉を忘れずにかけることで、お互い心地よく話し合いが展開されていることもとても勉強になったことの一つです。

私の事業所でも、週に1回定期的に事例検討やサービス提供の検討を行なっていますが、今後は今回の研修で取り組まれていることも要素として取り組むことができたらと考えています。



これからも、できる限り様々な研修会や学習会に積極的に足を運ぶことができるように努力したいと思いますし、市内の多くのケアマネジャーともいろいろな意見交換することで、自らの専門性を高めていきたいと思っています。

最後に研修部会のみなさん、今年度の研修会・学習会の企画や運営お疲れ様でした。

居宅介護支援事業所帯広市社会福祉協議会

三木 幸子

一部員募集中

ひとりぼっちのケアマネを作らない!

帯広市介護支援専門員連絡協議会では、会の運営にご協力いただける部員を募集しております。「ケアマネ連協という組織をもっと充実させたい」「気軽に相談できるケアマネの友達がほしい」「素敵な出会いがほしい」などなど志望動機は問いません。

ケアマネ連協には大きく「総務部」と「研修部」があります。お気軽にお問い合わせください!



第6回日本介護支援専門員協会全国大会in青森

～共同発表者の募集～



(↑写真はイメージです)

今年度、東日本大震災のため中止となった青森県での日本介護支援専門員協会の全国大会ですが、次年度に下記の日程で開催されることとなりました。

日 時：平成24年8月4日(土)・5日(日)

場 所：青森市民ホール

テーマ：介護保険法改正による新たな展開！利用者を支える医療・介護連携

～集まれ日本の支える力(地から)、届けようラッセラにのせて～

帯広市介護支援専門員連絡協議会では、本大会で多職種との連携の取り組みの実践報告を行う予定でございました。次年度の開催に伴い、役員会では改めて実践報告を含めた参加を考えており資料作成等、準備を進めていきたいと考えております。そこで、会員の皆様から共同発表者を1名募集いたします。日本三大祭りの「ねぶた祭り」の熱狂的な雰囲気の中、全国各地の取り組みや実践を学ぶことで自身のスキルアップを目指しましょう！

なお、本大会は「ねぶた祭り」の開催時期と重なるため、早い時期でのご案内とさせていただきます。参加費・旅費につきましては、次年度の事業費予算への計上を考えておりますが、総会での予算承認が必要となりますことをご了承ください。



帯広市介護保険認定審査会委員の派遣について

要介護認定は、一次判定ソフトによる判定から、介護認定審査会における認定まで、原則として、要介護認定等基準時間と呼ばれる介護の手間の判断によって審査が行われます。この審査の考え方は、制度が実施されてから、今日まで変わることなく続いております。

二次判定を行う介護認定審査会は、保健・医療・福祉の学識経験者で構成される合議体で、一次判定結果および認定調査結果、主治医意見書を総合的に勘案し、要介護度および認定有効期間を判定します。

帯広市介護支援専門員連絡協議会としては、利用者の生活を左右させる要介護認定において重要な位置を占める介護認定審査会に介護保険制度の中核を担う介護支援専門員が参画していないことを重要視し、介護認定審査会にケアマネも委員として参画すべきであると帯広市に働きかけておりました。帯広市もその必要性を認めていたこともあり、この度、介護認定審査会委員の派遣についてケアマネ連協に打診がありました。

帯広市としては10月あたりからの派遣依頼を検討しているそうですので、ケアマネ連協としては10名程度の委員の受託を予定しております。初めてということもありますので、まずは、ケアマネ連協の総務部を中心に委員を選出したいと考えておりますが、連協会員の皆様からも広く募集をさせていただきたいと思っております。

もちろん審査会に出席される委員には帯広市から報酬もあります。様々な観点からかなり勉強になるのではないかと思いますので、ぜひ委員として介護認定審査会に出席したいという方、もっと詳しく話を聞きたいという方は、遠慮なくお問い合わせください。

～私のお気に入り～



居宅介護支援事業所ニチイケアセンター帯広
本田 咲代子（旧姓・野田）

★紹介するお店★「Salon de MOTHER（サロン・ド・マザー）」



住所 帯広市白樺16条西4丁目1-18
TEL 0155-34-7796（要予約）
営業時間 / AM9:00～PM6:00

皆さん、ケアマネ業務の中で、日々パソコンを使い、目の疲れ、肩こり、腰痛などを感じることはありませんか？私はそんな時はいつも定期的に『サロン・ド・マザー』へ出掛けています。

ここは、頭から足先まで疲れを癒せる和みの美容室であり、バリアフリーの空間で福祉美容師やヘルパー2級、エステ、ホルミシスセラピスト講師の資格を持つ店主が迎えてくれます。

私の一番のお気に入りは、自然治癒力を促進させるホルミシスというクリームを使用する全身の施術です。痛みなどの身体不調を免疫系深リンパを流すことで改善させてくれ、また、マッサージによる筋肉の矯正により、体型まで整えてくれます。施術後は何より気分の爽快感、リフレッシュ、心の底から癒されたあ～～という気分になれますよ。

皆さんもぜひ一度体感してみてくださいはいかがですか(#^_^#)



※本田さん、まずはご結婚おめでとうございます。恥ずかしそうに名前が変わったことを教えてくれました。女性は恋をすると美しくなると聞いたことがあります、キレイになった秘密は恋だけではなかったのですね♪

ケアマネの輪・和・話

地域包括支援センター帯広至心寮

坪井 一身



写真はイメージです

ケアマネ連絡協議会の皆様、いつも大変お世話になっております、地域包括支援センター帯広至心寮の坪井です。今回はとても名誉なことに「ケアマネの輪」執筆のご指名を頂きましたので、近況をお伝えできればと思います。

十勝に移住し12年目を迎えました。広大な十勝の大地に憧れを抱き続けること十数年、これまで暮らしてきた富良野での生活にピリオドを打ち、この地に家族で移り住むことを決めました。願い続ければ夢はいつか叶うもの……です。

家族会議で決定したとはいえ、当時、小学生だった子供たちに泣かれ、後ろ髪をひかれる思いで引っ越ししてきましたが、いつもこの時期になると、昨日の出来事のように思い出します。嫁さんは生まれ育った富良野を離れる事に対し、これまでに無い程複雑な心境だったはずですが、何も言わずに黙ってついて来てくれました。言葉にすると、とても照れくさいのですが、本当にありがとうの気持ちで一杯です。

十勝には親類もなく知人もおらず、完全にアウエー状態でのスタートでしたが、皆様に暖かく受け入れてもらったお陰で、何とかここまでやってこれた事を強く実感しています。この場をお借りしまして改めて感謝申し上げます。

昨年の震災以降、「絆」という言葉が広く使われるようになりました。移住を決めた12年前「家族の絆」があつてこそ、今日の自分がここに在るという事を実感しています。子供が親元を巣立って行くようになるととても感慨深いものがあり、あと一年も経たないうちに、夫婦二人だけの生活となります。これからは「夫婦の絆」を今以上大切にしながら、「嫁さん孝行」を具現化することが自分の任務です。そして、この仕事を通じて知り合った全ての人は、自分にとって大事な財産です。

人と人のつながりは、決して目に見えるものではありませんが、そこには利害関係等なく、人と人が有機的につながることで、信頼や安らぎ、安心等の精神的な充足感を得られるものであり、Identityを気づかせてくれるものです。

「ケアマネ連絡協議会＝ケアマネの絆＝ケアマネの輪」このつながりを、これからも大切にしていきたいと思う今日この頃。皆さん、今後ともよろしくお願ひ致します！！



写真はイメージです



写真はイメージです

※坪井さん、ご自身の半生を赤裸々に語っていただきありがとうございました。家族写真はNGなので「ALWAYS・3丁目の夕日」のイメージで！とリクエストされましたが、どう想像しても「北の国から」になってしまいました(^_^)

癒しのオフタイム

地域包括支援センター愛仁園

小野 貴史

癒しのオフタイムということで、私も前回の通信に載っていた橋本さん同様に子供の笑顔、寝顔を見るのが何よりの癒しであることは間違いありません。しかし今回は話題を変えて、癒しとなっている趣味のゴルフを話題とし、お話しさせて頂きたいと思います。

ここ最近のクラブの変化、特にアイアンのロフト角に注目してみれば大きな変革期となっています。ただ、アベレージゴルファーが手にして「あのメーカーのクラブはよく飛ぶ」「つかまりがいい」など練習場の噂や雑誌等で書かれています、大きな誤解を生むこととなっているのです。ストロングロフト化と一度耳にしたことはあるとは思いますが、一昔の番手と比べて今の飛ぶクラブというものはただロフトを

立てて、シャフトを長くしてあるので飛距離が伸びる。当たり前のことです。「つかまりがいい」というのはグースによって見た目も変わりますし、優しさも変わってきます。騙されないことは番手ではなくて、まずロフト角に注目して見るのが大切です。そうすることによって、某ゴルフメーカーの7番アイアンはロフトが30度であり、飛んで当たり前と判断がつかます。決して他のクラブは飛ばないと誤解が生まれるようなことはありません。こうしてクラブを見ていると癒されます。



※小野さん、難しすぎてわかりません(@_@;)が、まずは連協メンバーでゴルフ行きましょう！！

【介護支援専門員連絡協議会からのお願い】

- ★連絡先や勤務先が変わったり、苗字が変更になった場合、HPにある「**入退会・変更届出書**」の書式を活用して速やかに届け出てください。
- ★会員への情報配信は可能な限りメールでの配信をお願いいたします。**メールアドレスの登録についての協力をお願い致します。**
- ★新規入会は随時受け付けています。入会申込書は、[ホームページ](#)から入手できますので詳細については事務局にお問い合わせ下さい。
(事務局 帯広市社会福祉協議会 藤原)

＝ 編集後記 ＝

こんにちは。小栗旬「激似」の編集長「えっち」です。

私の悪い癖なのですが、福山雅治がTVにでいると奥さんを「小雪」と呼んでしまいます。当然、奥さんには、ため息まじりで無視されます。これも悪い癖なのですが、無視されると意地になります。「こゆき〜」「こ〜ゆき〜」「こ〜ゆ〜き〜」「こゆき！」などトーンを変えて呼び続けます。絶対に面白いと思っ
てやっているのですが、奥さんはいつも無反応です。「明日、休みでしょ。髪切ってくるから、なぎさ(娘)みてて。」こんな感じで何もなかったかのように切り返されます。娘と二人で公園やスーパーに行き遊んでいる時に知り合いに会うと「ちゃんとパパしてるんだね〜」と言われます。「いいパパだね」と言われるより「いい夫だね」と言われたい37歳の春です。

編集長えっち